

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第16号

令和3年12月23日発行

発行者：校長 小貫 崇明



○充実の2学期～たくさんの表彰状をいただきました！

2学期はコロナで大変な時期もありましたが、後半になればなるほどコロナも落ち着き、子どもたちが多方面で活躍する充実した期間となりました。地域の方々からも、「新聞等で稲田学園の記事がたびたび出ているのでうれしい気持ちになりました。」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。2学期終業式では、たくさんの表彰状を伝達しました。



※ 表彰された児童生徒名はホームページでは公開しておりません。各家庭に配付した「稲雲」や公民館等の掲示物には掲載しております。

○クリスマスコンサート

12月15日（水）のお昼休み、メディアセンターにて6年生全員と7～8年生音楽部によるクリスマスコンサートを開催しました。

子どもたち、教職員などたくさんの方がクリ



スマスの雰囲気を楽しみに集まりました。天井が高いので、6年生の歌声やハンドベル演奏などがとてもよく響き、クリスマスツリーや冬のディスプレイとともにキラキラと輝く空間となりました。コロナ対策として10分程度の短時間ではありましたが、今回のクリスマスコンサートでも1～9年生が一体感を味わいながら学校生活を過ごす稲田学園のよさが感じられました。

★言葉と生きる(16) 「さあ乾杯 全員そろって クリスマス」

上記の記事でも紹介したように、6年生が中心となってクリスマスコンサートがありました。この時期は各ご家庭でもクリスマス気分が盛り上がりますよね。子どもの頃、イブの夜に帰りの遅い父を待つ我が家では、母に「何時に帰ってくるの?」「あと何分?」とたずね、父の帰宅を待ちわびていたことを思い出します。やっと家族全員がそろい、父母はシャンパンならぬビールで、子どもたちはサイダーで乾杯し、我が家流の「聖夜」を楽しみました。ごちそうは鶏の骨付きもも肉、バタークリームケーキ、その他はおでんだったりポテトサラダだったり、何でもありでこだわりなしでした。でも、あの時母が一番こだわっていたのは、クリスマスに限らずいつだって「家族がそろわないと始まらない夕食」だったんだと、今になって気が付きました。明日からの冬休み、子どもたちにとって、そして地域の皆さんにとって最高のクリスマス、家族で過ごすおだやかなお正月になりますように・・・